

本書の構成と活用にあたって

少子高齢化、家庭・地域社会の変容、高度情報化・グローバル化の進展、科学技術の発展と地球環境問題の深刻化、国民の生活意識や価値観の個人化傾向といった未だかつてなかったような急速かつ激しい変化が進行しています。このような社会環境の中で、学校教育においては、子どもたちに「生きる力」をはぐくむために「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力」を身に付けさせることが重要な課題となっているところです。そして私たちは、これらを総合的な課題ととらえ、課題解決のためによりよい実践研究を行っていく必要があります。

校内研修で取り組むべき課題は多様ですが、本書では、まず、校内研修を進めるにあたっての一助となるように、留意点や授業研究の方法について、また、校内研修の評価等について 校内研修Q & A編 として述べることにしました。

つづいて、実践事例編 として、全国に広く研究を公開している県外の実践校の中から、本県においても、参考となる先進的な取組をされている学校を選び、紹介することとしました。昨今において、各校種のますますの連携が、重要視されていることも考慮し、各校種ごとに紹介しています。このことにより、他校種の取組を知ることにも大きな意義があると考えます。また、学校内に勤務していれば誰しもがしなければならない学校事務の研修についても、小中学校の事例を紹介しています。

校内研修の評価方法については、必ずしも確立されているとはいえませんが、少なくとも、これからの校内研修の評価については、学校だけの内部評価だけで終わってはいけないことは、言うまでもありません。

特に、これからは、外部評価の導入が有効です。そのためには、まず、校内研修の成果を広く公開する必要がある、その方法の一つとして、今日、多くの学校が研究公開を実施しています。公開の目的に応じて方法を工夫し、より効果的な研究公開を実施することが必要です。

研究公開の目的とタイプには、次のようなものがあります。

普及型公開

教育課程や教育内容等について、先進的なあるいは特色ある研究実践を行い、他校からその有効性について客観的な評価を得ることを目的とするもの。
研究指定校やモデル校等指定を受けて研究を行ってきたもの
数年間の研究実践をふまえ、公開によってその優れた実践を広め、もって県内の教育の向上を図ることができるもの

国・県指定校
全県対象公開
全国大会
県大会

提案型公開

自校の授業や実践を「提案」的に公開したり研究協議の場として提供したりすることで、様々な教育課題について「研修会」的に協議することを目的とするもの。
教育講演会を併せて実施するなど、参加者とともに研究を深めようとするもの
分科会を重視して、日頃の課題を共通テーマとして深めようとするもの
公開される授業を一つの事例とした「提案型」の公開

市町村指定校
全県対象公開
県大会

報告型公開

地道で確実な教育研究実践を近隣の教育関係者に対して、研究の進捗状況等を中間報告的に公開するもの。
近隣校に対し、授業の公開を中心として取組を報告するもの
研究について説明責任を果たすことに主眼をおき、近隣校や保護者・地域への公開をするもの
毎年、定期的に行うことにより、保護者・地域から信頼を得ることに主眼をおいたもの

市町村指定校
自主公開
近隣対象公開

本書で、ご紹介している学校も、こうした取組を効果的に行っている学校であり、参考にいただけるものと考えます。

最後に、本書を編集するに当たっては、「新版 校内研究事典 尾木和英[編著]ぎょうせい」、広島県教育委員会による「授業改善のための校内研修ハンドブック ~マネジメントサイクルを取り入れた校内研修の在り方を求めて~ (平成15年3月)」、本川村教育員会事務局編集による「本川からの教育改革~校内研修の手引き1~ (平成16年4月)」を参考にしました。

